

令和3年度 第2回福崎町地域公共交通活性化協議会会議録

1. 日時 令和4年1月24日(月) 14:00~15:40

2. 場所 福崎町役場 2階 大会議室

3. 委員の出欠

	所属・役職等	氏名	備考
会長	兵庫県立大学名誉教授	松本 滋	
委員	福崎町区長会 代表	谷本 敬三	欠席
	福崎町老人クラブ連合会長	藤岡 修	
	福崎町商工会長	谷口 守男	
	JR西日本福崎駅 副駅長	東村 善夫	欠席
	神姫バス株式会社 姫路営業所長	池田 広幸	代理 竹内氏
	社団法人 兵庫県バス協会専務理事	水田 節男	
	社団法人 兵庫県タクシー協会 西播支部支部長 (神崎交通株式会社)	依藤 義光	
	神姫バス労働組合 副執行委員長	山本 記義	
	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部 輸送部門首席運輸企画専門官	田橋 一	
	中播磨県民センター姫路土木事務所 企画調整担当所長補佐	安井誠一郎	
	福崎警察署 交通課長	平瀬 清	欠席
	福崎町議会議員 (民生まちづくり常任委員会)	宇崎 壽幸	
	福崎町議会議員 (総務文教常任委員会)	富田 昭市	
	副町長	近藤 博之	
技監	野邊 正彦		
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所 道路管理第二課長	竹内 浩二	欠席
	兵庫県県土整備部県土企画局 交通政策課 副課長	奥藤 秀樹	
特別委員	姫路市都市局交通計画室 主幹	池内 一人	

事務局	まちづくり課長	山下 勝功	
	健康福祉課長	谷岡 周和	
	健康福祉課 課長補佐	藤田 裕文	
	まちづくり課 課長補佐	澤田 和也	
	まちづくり課 主事	辻中 寛朗	
姫路市	交通計画室 主任	谷口 真一	
加西市	人口増政策課 課長補佐	後藤 伸嘉	
市川町	企画政策課 主事	楠田 悠太	

4. 配布資料

- ・会議次第
- ・座席位置表及び委員名簿
- ・資料1 巡回バス「サルビア号」の運行再編等について
- ・資料2 加西市連携コミュニティバスの再編等について
- ・資料3 市川町連携コミュニティバスの再編等について
- ・資料4 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- ・資料5 福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の運行再編等について
- ・資料6 夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシー運行休止について

5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人：無

6. 会議録（司会 まちづくり課長）

1 開会

2 あいさつ（会長）

3 協議事項

①巡回バス「サルビア号」の運行再編等について

会 長 それでは、協議事項①巡回バス「サルビア号」の運行再編等について、協議事項②加西市連携コミュニティバスの再編等について、協議事項③市川町連携コミュニティバスの再編等については関連しているので一括して事務局より説明をしていただきます。

事 務 局 資料1により説明
（2ページ）

令和3年4月から12月までのサルビア号の状況についてです。まちなか便は前年度比較で約9割、川西便は約1.1倍、川東便は約1.2倍、買い物便は約1.9倍、市川町連携は利用者数が多くはないです。今年度から始めた加西市連携も来年度以降も利用者が多くはないと思われます。差し引きすると去年とだいたい同じ状況で、コロナの影響がまだ大きいと思います。

（3ページ）

モビリティマネジメント活動について、昨年度は1地区も出来なかったが今年度は2地区ですでに実施しました。南大貫地区では乗車体験も実施しました。西光寺、板坂の2地区から申し出があるので年度内に実施を予定しています。利用状況についてはコロナの影響もあり前年度とほぼ同じです。

まちなか便は運行事業者の変更もあり約9割だったが、運行に慣れてきたことや、1月6日に文珠荘が再開したので増加に転じる期待があります。

郊外便の川西便は堅調に推移しているが、運行ダイヤの時間的余裕がなく、乗務員の勤務体制の見直しが必要な状況があります。また土曜日は慢性的な渋滞により、定時運行が非常に困難な状況が続いているのが課

題です。

郊外便の川東便はコロナ禍ではあるが地道なモビリティマネジメント活動や運行再編により増加傾向にあります。

買い物便は令和2年10月に運行再編を行った効果が大きく、倍近い利用者になっています。

(4ページ)

市川町連携コミュニティバスは、全てデマンド運行とした影響で市川町側の利用の減少は見られるが、徐々に慣れてこられ、利用要望が出てきています。定時運行からデマンド型運行に移行したことに伴い、運行経費は約半分になりました。

令和3年4月から運行を開始した加西市連携は、前日予約が必要なことや運賃が300円となること、滞在時間が4時間となることなどから、利用者については少ない状態が続いています。しかし、行きの福崎町から加西市へはコミュニティバス、加西市から福崎町への帰りは神姫バスを利用されるなど、神姫バスの利用促進に寄与しているのではないかと思います。福崎町内の方からはイオンに行きたいとの問合せがかなりあります。滞在時間の縮減や、加西市から福崎町、加西市から加西市の利用などのPRが必要になってくると考えています。全体として、令和3年度の残り令和4年度についても、コロナ対策が必要な状況が続くことが予想されるが、町内のサルビア号利用者については、やや明るい兆しが見えるのではないかと考えています。一方、市町間連携についてはより一層の利用促進等を行っていく必要があると考えています。

(5ページ)

今回大きく変えるのは時刻表です。全体がバラバラしていて見にくい、という声があるので冊子型の時刻表にまとめ、公共交通全体を見渡したような時刻表にしたいと思います。

(6ページ)

まちなか便の改編について、バス停を新設します。文珠荘休館時にバス停を下に下ろして、その場所になります。神積寺にお参りする方も多く、ここにもバス停を作りたいという要望があり4月から神積寺前バス停を新設します。

(7ページ)

運行事業者が神崎交通さんによって9ヶ月経ちました。その運行実績を経て来年度の運行に反映し、変えたいと考えています。

(8ページ)

川西便の改編について、①乗務員サービス規程や交通状況、利用状況などを鑑み、最終統合便を廃止し、1日10便から9便に減便します。それにより運転手の休憩時間を遵守出来ます。JR福崎駅の結束点機能向上のため運行ルートを変えてJR福崎駅に寄る回数を増やそうと考えています。②慢性的な交通渋滞に対応するため、土曜日独自のダイヤを採用します。これは冊子型時刻表を採用することで可能となる運行形態になります。また、利用実績の解析により1便統合便を廃止するので9便から8便に、1便減便になります。

③西谷(順教寺前)というバス停があるが、現在水道工事の為バス停を

移設したところ、今の位置の方が利用しやすいという声があり、4月から本格的に場所を変更し名称の変更も行います。それに伴い一部ルート変更が生じます。

(9ページ～12ページ)

各時刻表です。

(13ページ)

川東便の改編について、①南大貫地区からの要望によりバス停を増やします。

②余田新田(神姫バス停)は実際には南大貫地区にあるが、神姫バスさんと同じ名称にしていました。今回、南大貫西(神姫バス停)に名称を変更します。運行エリアも川東D地区から川東C地区に変更します。

(14ページ)

買い物便の改編について、①加西市連携コミュニティバスの運行再編に伴う時刻表変更で、滞在時間を短くするために現行の運行時間より1便目については60分前倒、2便目については35分前倒で運行をしたいと考えています。ふくひめ号の3便目の利用者が多く、たまに積み残しが生じています。それをうけて、ふくひめ号の3便目を溝口駅から福崎駅まで運行してそのまま買い物便へ移行するような運行を考えています。その関係上、辻川(公民館)発から田尻南(ライフ前)着に変更します

(15ページ)

利用者からの要望により吉田東(ミナミ整形外科前)の追加を検討しています。

(16ページ)

小倉から鍛冶屋(地藏堂)の間を信号をとばすような形で運行ルートを変更します。これは運行事業者からの要望です。

サルビア号の運賃の変更はありません。

②福崎町・加西市連携コミュニティバスの再編等について

事務局 資料2により説明

(2ページ)

市町間連携として交流人口を増やす、ということで始めました。また、公共交通空白時間帯を埋める運行形態として令和3年4月6日に運行開始をしています。

(3ページ)

9ヶ月間運行をしてみて問題点が浮き彫りになってきました。前日予約が煩雑だということと、滞在時間が長すぎるという声が多いです。加西市から福崎町への流入が少ないという声も聞いています。改善案として考えたのが、来年度からは当日9時までの予約に変更します。滞在時間の変更ということで、加西市に10時9分着、13時6分発の約3時間、加西市の方が福崎町に来られた場合、10時33分着、12時42分発の約2時間になるので、これならば負担にはならないと考えています。またバス停の変更として、福崎町役場前とラ・ムー前を廃止し、もちむぎのやかた、辻川観光交流センター前、ユニクロがあるボンマルシェ前に運行ルートを変更したいと思います。

(4 ページ)

加西市連携コミュニティバス運行再編に伴う時刻表変更のまとめになります。下線を引いている所が変更した箇所、変更後は1便目2便目3便目は時間がそれぞれ約80分ほど後倒になります。4便目は、もちむぎのやかた発になります。6便目は運行廃止にします。

(5 ページ)

運行形態については変更なしです。

(6 ページ)

時刻表の詳細です。

(7 ページ)

アステシアかさいで乗り換えをすると加西病院専用券が使えます。

③市川町連携コミュニティバスの再編等について

事務局 資料3により説明

(2 ページ)

毎週火曜日・木曜日の運行が月曜日・金曜日も増えて週4日間の運行になります。福崎町からの利便性も大きくなるのではないかと考えています。増便の背景等については市川町さんから説明をしていただきます。

市川町 福崎町との連携コミュニティバスは、市川町役場停留所で市川町のコミュニティバスに乗り換えてもらおうと福崎町の商業施設などに行けるようになっていきます。現在は予約があった場合のみのデマンド運行になっており、予約が出来るのは火曜日と木曜日の週2日です。この度、市川町コミュニティバスの再編により時刻の変更があり、それに伴い連携バスの時刻も変更を予定しています。利用者の減少が背景にありますので、更なる利便性の向上を図りたいと考えています。市川町コミュニティバスの増便に伴い、連携コミュニティバスを市川町コミュニティバスの時刻に即した時刻に見直します。利便性向上のため月曜日と金曜日の増便を検討しています。

(3 ページ)

月曜日・木曜日運行は浅野路線に、火曜日・金曜日運行は瀬加路線と連携しています。停留所の表記をより簡単にするため、市川町エリア連携バス停留所、福崎町エリア連携バス停留所としています。連携コミュニティバスはデマンドで運行しており、定時定路線とは違い時刻が決まっていないため、このような記載になっています。市川町エリアは7停留所、福崎町エリアは9停留所です。便数は1日2.5往復から4往復に増便になります。

(4 ページ)

福崎町の文珠荘停留所、西大貫（神姫バス停）停留所を追加したいと考えています。文珠荘については1月にリニューアルオープンされたので、市川町からも行く事が出来るよう追加しました。西大貫停留所については、福崎町と加西市との連結場所のため追加しました。上手く乗り換えると加西市まで行けるようになります。停留所の移設について、西田中停留所は国道沿いの物流倉庫の出入り口にあり、より安全にバスの乗降が出来るように、停留所の移設を検討しています。

(5 ページ)

移設場所は現在の停留所から約230メートル離れた西田中区が管理する駐車場になります。区長さんに了解を得ています。周囲に民家が多い場所になっているので利用者にとって使いやすい場所になると考えています。改正予定日は令和4年4月1日で、広報4月号で周知する予定です。

- 事務局 以上で協議事項①から③についての説明を終わります。
- 会長 協議事項①巡回バス「サルビア号」の運行再編等について、何かご意見、ご質問がありましたらどうぞ。
- 委員 13ページについて、現行は余田新田の神姫バスの停留所と同じ場所にあるが、それを神姫バスの南大貫の停留所に移設するということですか。
- 事務局 名前を変えるだけです。
- 委員 神姫バスの余田新田の停留所がある位置もそもそもは南大貫になるので神姫バスの停留所の名前も変えた方が好ましいということか。
- 事務局 それは神姫バスさんの方で考えていただいたら良いと思います。場所は南大貫になるが、もう少し北側に南大貫のバス停があるのであえてその名前を使われているのではないか、と思います。
- 委員 わかりました。当社の方も、同じ停留所にあるが異なる停留所の名前である、ということを知らせてもらいます。
- 会長 地元の方からの了承はあるのか。
- 事務局 地元から運行エリアの変更の要望があり、それを受けての変更になります。
- 会長 協議事項②加西市連携コミュニティバスの再編等について、何かご意見、ご質問がありましたらどうぞ。
- 委員 厳しいコロナ禍の中、色々工夫して考えてやってもらっているが、数字的にはかなり厳しい所があると思う。加西市連携と市川町連携、それぞれ利用者は同じ方なのか。
- 事務局 同じ方は利用されていると思うがわかりません。
- 委員 同じ方が利用しているとなると、利用者数はもっと少ないのではないか。
- 会長 定期購入者はわからないのか。
- 事務局 加西市連携は定期がなく、市川連携の方も基本的に現金なのでわかりません。
- 委員 ニーズがどれだけあるのか、ここまでしてやらないといけないのか、他の公共交通事業者の方がどう思うか、という事もあるので、検討してもらいたい。
- 会長 協議事項③市川町連携コミュニティバスの再編等について、何かご意見、ご質問がありましたらどうぞ。
- 委員 協議事項①の3ページ、運行に慣れて来たことにより利用者数の増加に転じる期待がある、となっているが、このことは利用者数の増減に関係はあるのか。
- 事務局 神姫バスさんのハイスペックな車両からワゴン車に変わったので利用する人も戸惑ったのではないか、と思います。利用者数の減少は文珠荘のお風呂が閉まっている、というのが大きな要因です。
- 会長 男性の高齢者はバスに乗り慣れていないので、バスを自分の交通手段の

足としての考えに入れていない、という話も聞きます。1度乗ってみたり、家族が利用した話を聞いたりするのは効果があるのかな、と思います。利用者の利便性や要望を考慮して改善を積み重ねてきたが、買い物に行って現地に4時間滞在する、というのは無理な話だ。公共交通会議の参加者は全員男性なので、もう少し女性の声が反映されていたら、と思います。計画作りの段階で考慮してもらえれば、と思います。

他になれば採決に入りたいと思います。

協議事項①巡回バス「サルビア号」の運行再編等について、賛成の方は挙手をお願いします。

【全員挙手】

全員挙手により、協議事項①について、本協議会の協議が整ったものとします。

協議事項②加西市連携コミュニティバスの再編等について、賛成の方は挙手をお願いします。

【全員挙手】

全員挙手により協議事項②について、本協議会の協議が整ったものとします。

協議事項③市川町連携コミュニティバスの再編等について、賛成の方は挙手をお願いします。

【全員挙手】

全員挙手により協議事項③について、本協議会の協議が整ったものとします。

④地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

会 長 協議事項④地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、事務局より説明していただきます。

事 務 局 資料4により説明

昨年度、本協議会において承認をいただき、国に認定していただいた地域内フィーダー系統確保維持計画にあげている福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」について事業評価を行うものです。

地域内フィーダー系統確保維持計画により認定されたバス路線で、国から支援を受けた事業については事業完了後に事業評価を行い、その結果を地方運輸局に報告する必要がありますので、本日協議いただくものです。事業評価は令和3年度事業、通常は令和2年10月から令和3年9月が事業期間となりますが、「ふくひめ号」に関しては令和3年4月から本格運行を実施していますので、4月から9月の半年間が対象となります。この間の事業実施状況の確認や目標達成状況等の評価を行い、必要に応じて改善措置を行うことでバスの運行をより効果的・効率的に推進することを目的に実施するものです。それでは評価内容について説明させていただきます。

(1 ページ)

協議会名は福崎町地域公共交通活性化協議会です。評価対象事業名は地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金です。①補助対象事業者等は福崎町地域公共交通活性化協議会です。②は事業概要で、福崎町・姫路

市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の運行です。運行系統名は姫路市連携①（通勤便A）と姫路市連携③（連携便）となっています。工業団地を経由し、JR福崎駅とJR溝口駅を結ぶ通勤便A、福崎町内の文化センターから姫路市内の香寺・宮脇を経由し、文化センターを結ぶ連携便を運行しています。全ての系統をワンボックス車両1台で運行しています。③前回の事業評価結果の反映状況は今回が初めてなのでなしです。④事業実施の適切性は、計画に基づいて事業が適切に実施されたかどうかをABCの三段階で評価することとなっています。今回は計画どおり事業が適切に実施出来たのでA評価にしています。⑤目標・効果達成状況です。計画に目標を定めており、ABCの三段階で評価することとしています。計画では目標を48人/日としています。それに対して実績は48.1人/日だったのでA評価にしています。⑥事業の今後の改善点について、地域住民及び関係団体と意見交換を引き続き実施しながら、利用者のニーズに合った運行ダイヤ等の検討及びモビリティマネジメントを継続し利用促進を図りたいと思っています。

（2ページ）

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について、協議会名と評価対象事業名は先ほどと同じです。地域の交通の目指す姿ということで、本町及び姫路市では、平成27年度より地域創生にかかる広域連携の制度である「連携中枢都市圏構想」に取り組んでいます。その取り組みの一環として圏域住民の生活関連機能サービスを向上させるため、地域公共交通の維持確保に向けた取り組みを行っており、本町及び姫路市が行政の垣根を越えて連携し、公共交通空白地域・不便地域での移動困難者のニーズに対応するため、地元自治会や企業とも協力し、買い物や通院、通勤、雇用、就業支援などの課題を解決し、持続可能な移動の仕組みを構築する必要があります。

運行地域特徴と基本方針ということで、姫路市香寺町中寺地区は近くに公共交通機関がない交通空白地域である。また当該地区は高齢化も急速に進み、今後免許返納者が増えることも予想されます。また該当地域に隣接する福崎町工業団地への通勤の足の確保・自動車から公共交通機関への転換やJRからの2次交通の確保及び障がい者の雇用確保についても重要な課題である。このため、地域公共交通確保維持事業により、福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」路線を確保・維持することで、住民の生活交通手段の存続に加え、地域の価値向上などをおこなっていくことが必要です。

（3ページ）

協議会が目指す地域公共交通の将来像として、1番目に地域特性を記載しています。次に福崎町地域公共交通網形成計画にも記載している基本理念「一人ひとりが活動しやすく 住みよいまち・福崎」を掲げています。基本方針として、まちの玄関口の整備から利用しやすく持続可能な公共交通づくりの5つを設定しています。その下は公共交通ネットワークのイメージ図です。左側が町全体のイメージ図で、右側に今回対象のコミュニティバス「ふくひめ号」の路線図を掲載しています。

（4ページ）

目標設定及びその達成状況の評価に関する事項です。数値目標として、福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」は1日あたりの乗車人員を48人としております。

目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容として、(1) 取組経緯について、福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」は令和3年4月1日より本格運行を開始しています。運行方法は路線定期運行、運行事業者は神崎交通株式会社、運行系統は通勤便A〔上り〕、通勤便A〔下り〕、通勤便B、連携便となっております。運行日・便数については月曜から金曜は11便、土曜日は3便となっております。

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等です。補助対象事業について、事業名は福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」、実施主体は福崎町です。着手・実施機関は令和3年4月1日からです。種別はフで、表の欄外に書いてある地域内フィーダー系統になります。事業概要については先ほど説明した運行系統の内、対象となる通勤便Aと連携便です。

(5 ページ)

生産性向上の視点から取り組んだ事業ということで、事業名は同じです。取組内容として、各世帯に時刻表を配布し周知を行いました。コミバス、JR、路線バスなどを総合的にまとめた地域公共交通案内ホームページの開設により広域的な運行情報の提供をおこなっています。バス利用例の説明及び実車体験を実施しています。運行実績を勘案した上でのダイヤ改正、運行ルートの検討をおこなっています。効果目標としては、コミバス利用者の増加です。

4番目の具体的取組に対する評価です。「ふくひめ号」の本格運行にあたって実施した利用者アンケート調査や社会実験期間中の運行実績等を勘案した運行ダイヤ及びルートの見直しにより利便性が向上し、利用者数は徐々に増加傾向にあることから、一定の成果があったと考えられます。目標48人/日に対し、実績48.1/人であり、目標を達成したものの、連携便の利用は伸び悩んでいます。コロナ禍の影響で外出機会が減ったことや沿線自治会への積極的な利用促進ができなかったことから、引き続き利用者増に向けて取り組んでいく必要があります。

障がい者雇用は、移動手段が増えたことにより、就業の不安が軽減され、積極的な企業見学会、研修会等の実施、雇用機会などが創出されました。交通弱者の日常生活の移動手段確保のため、地域住民や事業者等と連携しながら持続可能な公共交通ネットワークの構築を図っていきます。

5番目の自己評価から得られた課題と対応方針です。課題は買い物や通院等の利用を想定して運行している連携便の利用が伸びていないことです。課題への対応方針として、工業団地協議会及び沿線自治会等との意見交換会を通じて、利用者ニーズの把握に努め、利用促進に繋がる運行ダイヤを検討していきます。また、新たな利用者の獲得に向けて、モビリティマネジメント等の利用促進活動にも取り組んでいきます。

(6 ページ)

これまでの経緯で、アピールポイントや特に工夫した点などです。JR及び神姫バスダイヤとの接続による利便性の向上を図りました。時刻表

のほかに地区別の利用例を作成し、利用促進を図りました。自治会において、乗車体験ツアーの開催や無料乗車券の配布、利用説明会など、地域による自主的な取組も行われています。工業団地協議会、沿線自治会、神崎郡自立支援協議会との意見交換会を実施し、情報共有をおこなうとともに、運行ダイヤ及びルートの検討など、連携して運行継続に向けて取り組んでいます。以上で説明を終わります。

- 会 長 何かご質問、ご意見がありましたらどうぞ。
- 事務局 前半は事業計画の申請の時と同じ文章か。
- 会 長 計画に挙げた内容で、それに対して評価をしています。
- 会 長 自治会による取り組みが地域により自主的に行われている、とあるが市や町は協力していないのか。
- 事務局 協力もしているが、自治会において説明会や乗車体験、無料乗車券の配布など利用促進に努めてもらっています。
- 会 長 無料乗車券の配布は誰がしたのか。
- 事務局 自治会です。
- 事務局 回数券を自治会が購入し、それを配布しました。
- 姫路市 当初から公共交通が不便な地域で、地元の住民が福崎町に積極的に赴いてこの「ふくひめ号」が実現しました。社会実験はトヨタモビリティ基金を活用したが、本格運行には市や町の財源の持ち出しが必要です。積極的な利用がなければ規模の見直しや運行の見直しをしなければならないことを地元が十分理解しています。多くの方に利用してもらうための取り組みとして、自治会が回数券を買って無料で配布したり、MM的な所を自ら率先してやられています。市としても、乗り方やバスの時刻の見方など、地元から要望があれば出来る限り取り組みを進めています。
- 会 長 公と民間がすばらしい協力体制で取り組んだ良い事例になると思うのでもう少し積極的評価がされても良いのではないかと、思います。
- 事務局 内容を検討して修正させていただきます。
- 委員 今回の事業報告は4月から9月という、気候的にも良い時期でデータをとっているが、10月から3月は冬になり利用者の減少も予想されるがどう考えているか。
- 事務局 今回の事業年度は令和2年10月から令和3年9月の1年になるが、「ふくひめ号」に関しては令和3年4月から本格運行を開始しているので9月までになります。次年度は令和3年10月から令和4年9月です。1年を平均しても減ることはないと思います。
- 委員 データは1年間を通してとってみないとわからないと思うので、次は1年間通してのデータを出してもらいたいと思います。
- 事務局 来年度からは10月から9月までの1年間の報告をさせていただきます。
- 会 長 評価は毎年するのか。
- 事務局 はい。
- 会 長 他にありますか。
- なければ採決に入りたいと思います。
- 協議事項④地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、賛成の方は挙手をお願いします。

【全員挙手】

協議事項④地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、本協議の協議が整ったものとします。

⑤福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の運行再編等について

会 長 協議事項⑤福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の運行再編等について事務局に説明していただきます。

事務局 資料5により説明

ふくひめ号については、社会実験を終えて令和3年4月から本格運行を開始していますが、これまでの利用実績や住民等の意見を踏まえ、誰もが利用しやすい移動手段となるよう、運行再編を考えています。はじめに、現在の運行状況等について説明させていただきます。

(2・3ページ)

時刻表及び路線図です。現在、通勤便A（上り）2便、通勤便A（下り）2便、通勤便B 2便、連携便5便の計11便で、土曜日は連携便の4・5・6便目のみ運行しています。

(4ページ)

4月から12月までの各便ごとの利用者数の実績です。運行日数が224日で、10,776人の利用がありました。日当たり利用者数は平均48.1人となっています。

(5ページ)

月別利用者数の推移を表したグラフです。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令された5月には一時利用者数が減少したものの、徐々に増加傾向にあります。9月から若干減少しているのは、工業団地の企業の研修生の減などが影響しているものと考えられます。

(6ページ)

上段が平日、下段が土曜日の月別利用者数となっています。利用者数の日平均は平日が約57人、土曜日が約4人で、昨年同様平日に比べて土曜日の利用が少ない状況となっています。

(7ページ)

上段が曜日別、下段が便別の利用者数です。曜日別について、本格運行開始に伴い、土曜日は4・5・6便目のみ運行していますが、伸び悩んでいる状況です。便別について、2便目、3便目、8便目など、通勤便の利用状況は比較的堅調ですが、日中の5便目、6便目、7便目など、連携便の利用が伸びていません。コロナ禍の影響もあり、沿線自治会への積極的な利用促進ができなかったこともあります。引き続き利用増に向けて取り組んでいく必要があります。

(8ページ)

バス停別の利用者数です。4月から12月までの累計乗降者数です。利用の多いバス停はJR溝口駅前、工業団地の凸版印刷前、福崎駅前となっています。利用の少ないバス停は中島、辻川観光交流センター前、西野北など連携便のバス停です。コロナ禍で利用促進が難しい状況ですが引き続き沿線自治会への周知等を行っていきたいと考えています。

(9ページ)

12月末時点での収入状況です。定期券、回数券、現金、ペイペイ利用

を合わせ、約176万円となっています。

(10ページ)

運行状況や住民の意見等を踏まえ、運行再編を考えています。運行実績等を勘案した上でのダイヤ改正、運行ルートの変更です。まず、土曜日運行の廃止です。利用者が少ない状況が続いており、今後も利用増は見込めないことから運行廃止とします。次に、ショートカット便の運行です。買い物等の利用を想定している連携便ですが、4便目と5便目のあいだが2時間あり、パッと行って買い物をして帰るには時間が余り利用しにくいという意見があります。時間を短縮して1時間で買い物をして帰れる便を追加します。次に、通勤便Bの一部ルート変更です。現行の9便目を日本レイヤー前まで延長し、北側の企業も利用できるようにします。次に、各便にかかる変更の概要です。改正後の便名で説明します。1便目の通勤便A(上り)は乗務員の意見を踏まえ、西治北バス停及び溝口ニュータウン集会所前の時刻を調整しています。2便目、3便目は変更ありません。4便目の連携便は、ショートカット便とし、土曜日運行を廃止します。

(11ページ)

6便目、7便目の連携便は、ショートカット便追加によるダイヤ改正と土曜日運行を廃止します。8便目の連携便は、ショートカット便追加によるダイヤ改正です。9便目の通勤便A(上り)は1便目と同じです。10便目の通勤便Bは、一部ルートを変更し、日本レイヤー前、サミットスチール前、トンボ工業前まで延長して運行します。11便目、12便目はショートカット便の追加による便の繰り下げです。

(12・13ページ)

連携便の4便目、5便目の運行ルートです。現在、文化センターから工業団地、溝口駅を經由して福崎町の市街地に行き、折り返し溝口駅、工業団地経由で文化センターに戻ってくるルートになっています。これを福崎町の市街地から戻って来る時に文化センターまで行かずに溝口駅着とします。次の便で溝口ニュータウンから出発し、福崎町の市街地に行くルートにすることで、運行時間が短縮され、買い物等で利用される方の利便性が向上すると考えています。

(14ページ)

通勤便B(10便目)の運行ルート案です。溝口駅発、工業団地経由、溝口駅着で現在は日本レイヤー方面には行かないルートになっていますが、この時間帯にバスを利用したいという声もあり、路線を延長し日本レイヤー前、サミットスチール前、トンボ工業前にも停車するように変更します。

(15ページ)

先ほど説明した運行内容を反映した時刻表の改正後となっています。通勤便A(上り)と通勤便A(下り)、通勤便Bの時刻表で、下線部が変更箇所となります。

(16ページ)

連携便の時刻表です。現行の5便から1便追加し、6便となります。4便目、5便目がショートカットしている便です。

(17ページ)

利用料金の改正です。現金について、改正前は中学生以上の方すべて200円となっていますが、改正後は新たに福祉対象者を設定し、100円にしたいと考えています。福祉対象者は表の下※印で説明していますのでご覧下さい。また小学生100円についても福祉対象者とみなすこととしています。その他は変更ありません。今回の改編内容については、社会実験実施期間中の協議会メンバーであった工業団地協議会、神崎郡自立支援協議会、沿線自治会等との意見交換を開催し、了承を得ています。

(18ページ)

地域内フィーダー系統確保維持計画の変更についてです。前回、6月の協議会で承認を得た後国へ申請し、9月に認定通知をいただいた計画ですが、令和4年4月からの運行再編に伴い、計画の内容に変更があるため届出が必要になります。

(19ページ)

変更箇所については、網掛け及び下線で表示しています。2番目の姫路市連携③(連携便)は、現行4便目がショートカット便として別系統になったことによる減便(5便→4便)と、土曜日運行の廃止による計画運行日数・回数の減ということで変更しています。3番目、4番目の連携便は、ショートカット便として新たに追加する系統です。

(20ページ)

令和5年と令和6年分です。変更内容については先ほどの説明と同じです。

(21ページ)

路線図については運行再編の説明をした時のスライド12ページと13ページをご参照下さい。下段は姫路市連携③-3(連携便)に停留所の名称、位置、キロ程です。

(22ページ)

姫路市連携③-4(連携便)のキロ程です。

以上の内容で変更の届出をしたいと考えています。これで協議事項⑤についての説明を終了します。

会長 何かご質問、ご意見がありましたらどうぞ。

姫路市 補足ですが、社会実験期間中から土曜日の運行は低迷していました。本格運行が始まってすぐに土曜日運行を廃止してはどうか、という意見もありましたが、本格運行をやって利用がなければ廃止とさせてもらいます、という事を地元住民にも予め告知した上で運行してきました。沿線自治会の方には実情を申し伝え了解を得ました。連携便が低迷している要因として買い物には1時間あれば十分だが待ち時間が長すぎるという意見や、工業団地の方からの意見で昼間は需要がないという事でショートカット便を取り入れた方が有効的ではないか、ということから便数は増えたが、経費は増えていない形でのダイヤの見直しをやりました。目標人数も土曜日が足を引っ張っていたので、土曜日運行の廃止によって利用者増が見込めるのではいかと思っているのでご理解をよろしくお願ひします。

会 長 他にありますか。

なければ採決に入りたいと思います。

協議事項⑤福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の運行再編等について、賛成の方は挙手をお願いします。

【全員挙手】

協議事項⑤福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の運行再編等について、本協議の協議が整ったものとします。

⑥夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシー運行休止について

会 長 協議事項⑥夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシー運行休止について事務局に説明していただきます。

姫 路 市 資料6により説明

姫路市が事業主体となり取り組んでいます。令和元年10月本協議会において、前之庄の地域の方を福崎町へ乗り入れする事について協議を図り、承認を得た事業でした。コロナ禍の影響もあり利用が低迷していました。利用促進をしなければ目標を達成できないという事で無料クーポン券がついたチラシを配布し利用促進を試みたが、社会実験中は地域の方々が協力していたが、本格運行になってからはなかなか難しかった。利用実績の表を見ても一桁台しか利用されていません。福崎町ルートは無料クーポンを配った月だけしか利用がありませんでした。目標に達しない場合は見直し・休止をするということをはっきり謳ってこの事業を展開しています。福崎町へのルートは事業の継続が難しいので令和4年3月末で休止をします。利用者属性の表を見ると固定された特定の方が利用していて、偏った利用になり、乗合にもなっていません。他の地域への新たな取り組みにも影響があるので休止を考えています。1月20日に姫路市の公共交通会議で承認をもらっているのので、本協議会でも承認をよろしくをお願いします。以上です。

会 長 何かご質問、ご意見がありましたらどうぞ。

会 員 この事業自体は実績により合意の上での休止だと思うが、利用登録者が290人もいる。交通弱者の課題は解決されていないが次の展望はあるのか。

姫 路 市 具体的代替え案は今のところありません。当地域には路線バスはあるがバス停から遠く、公共交通不便地や空白地域がある事からデマンド型乗合タクシーを導入したが、高齢者の方が買い物でタクシーを呼ぶという事に抵抗感があるようです。また各医療機関が送迎バスを運行しているという事が利用が低迷している大きな要因であると思います。関係自治会の方と何度も話し合いをしたが、一端は休止してまたニーズが高まればという事になりました。姫路市高木地域でもデマンド型乗合タクシーを運行しているがそちらは引き続き継続します。地域性だけではない課題があるかもしれないが、今後再検討していきたいと考えています。

会 長 他にありますか。

会 員 情報提供になりますが、中国ハイウェイバスが夢前の停留所から福崎インターまで210円で運行しています。停留所までは離れているがこのような公共交通があるので2つの町を繋ぐバスとしてご利用してもらえ

会 長 れば、と紹介させてもらいました。
ありがとうございました。
他にありますか。
なければ採決に入りたいと思います。
協議事項⑥夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシー運行休止について、
賛成の方は挙手をお願いします。
【全員挙手】
協議事項⑥夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシー運行休止について、
本協議の協議が整ったものとします。

4 その他

会 長 その他について何かあればどうぞ。
ないようなので事務局に司会を戻します。

5 閉会

事務局 会長ありがとうございました。
以上をもちまして、令和3年度第2回福崎町地域公共交通活性化協議会
を終了させていただきます。ありがとうございました。

—以上—